

平成 17 年度当初予算 施策別概要

5 2 3 住民参画によるまちづくりの推進

52301 住民参画のまちづくり (県土整備部)
52302 美しい景観づくり (県土整備部)

(主担当部局：県土整備部)

< 施策の目的 >

(対象) 地域住民、市町村が

(意図) 地域の個性を生かし、魅力ある美しい生活空間を備えたまちづくりを参画と協働で進めている。

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
住民参画でまちづくりに取り組んでいる団体数(団体)	目標値		6 5 0	7 5 0	8 5 0
	実績値	6 4 2	7 2 0		

地区の社会資本整備や景観づくりに住民参画、協働により積極的に取り組んでいる団体数

< 平成 17 年度に残っている課題 >

住民満足度が高く、個性豊かで魅力あるまちづくりを進めていくため、これまでの公共事業全般を行政が担うとする役割分担から、県民の参画と協働により、地域住民の創意工夫やニーズを反映しながら社会資本の整備、管理を進めていく必要があります。

社会資本整備における住民参画を推進するため、住民参画の仕組みづくりを進める必要があります。

快適で魅力的な観光交流空間を創造していくため、自然や歴史・文化など地域の個性を生かした良好な景観形成が求められており、平成 16 年 6 月に公布された「景観法」に基づく取組を県内各地で展開していく必要があります。

魅力ある美しい景観づくりを進めるには、地域住民の創意工夫を生かした主体的な取組の中から、観光客が訪れたいまちづくりや住民が誇れるまちづくりを地域住民や市町村との協働により推進していくことが必要です。

< 平成 17 年度の施策の取組方向 >

道路や河川など県が実施する社会資本整備において、事業の計画策定、実施、管理のそれぞれの段階で県民と行政がそれぞれの役割分担の下に参画、協働が行えるようなひとづくりや組織づくりを進めます。

住民参画の仕組みづくりについては、「新しい時代の公」推進調査委員会の検討状況を踏まえ、社会資本整備に県民の参画と協働を取り入れながら進めていくことを基本理念とする条例の制定に取り組むとともに、事業執行の手引きとなるガイドラインの作成を行います。

景観づくりについては、三重県景観形成指針を基本方向として、ホームページやパンフレットにより良好な景観づくりの取組の P R を行うなど県民や事業者の景観に対する関心を高めるとともに、新たに景観計画の策定など景観形成施策を実施する市町村の取組を支援します。

良好な景観や歴史的な街並みなどの地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、伊勢志摩地

域のモデル地区や松阪・東紀州地域において、地域住民や行政が協働で策定する整備計画に基づき、散策マップの作成、案内板の設置などを実施するとともに、県道など県有施設の景観整備を実施します。

<主な事業>

まちづくりダイアログ事業【基本事業名：52301 住民参画のまちづくり】

当初予算額： 3,989千円 5,274千円

事業概要：住民参画によるまちづくりに取り組んでいる市民グループやNPO等と情報交換や意見交換を行い、そのノウハウを社会資本整備の計画づくりや維持管理において住民参画が進むようひとつづくりや組織づくりに生かすとともに、道路、河川などの社会資本整備について、住民参画による計画づくりを進めます。

住民参画のプラットフォーム創造事業【基本事業名：52301 住民参画のまちづくり】

当初予算額： 17,087千円 9,137千円

事業概要：住民参画の仕組みづくりとして、条例制定の取組と合わせ、住民参画のあり方や手法を紹介した、事業執行の手引きとなるガイドラインの作成を行います。

(新)(重)みえの景観づくり推進事業【基本事業名：52302 美しい景観づくり】

当初予算額： 千円 9,856千円

事業概要：平成16年6月の景観法の制定を受け、同法の景観計画に盛り込む基本的事項の考え方やあり方等を示した「景観法運用ガイドライン」を策定します。また、県民等の良好な景観形成への意識高揚を図るとともに、景観アドバイザーの登録や市町村と地域住民が景観について主体的に検討する景観交流会の開催支援など、景観行政団体となる市町村を支援します。

(重)伊勢志摩快適空間創造事業【基本事業名：52302 美しい景観づくり】

当初予算額： 4,925千円 4,143千円

事業概要：平成13年度に策定した「伊勢志摩空間快適性向上整備計画」をもとに、それぞれの地区で開催してきた地区別部会を継続的に開催し、整備計画に掲載された取組の詳細検討、ソフト的取組の実施等を行うとともに5年間の活動成果をまとめ、今後の地域での活動に生かします。

(重)松阪・東紀州交流空間創造事業【基本事業名：52302 美しい景観づくり】

当初予算額： 16,458千円 2,408千円

事業概要：歴史と文化を活かしたまちづくりを目指している松阪市や「熊野古道」の世界遺産登録された東紀州地域において、それぞれの地域資源を利活用した景観や街並みを創造していくため、平成16年度に策定した「交流空間整備計画」をもとに、地域住民や市町村との協働により実践を行います。

(重)まちづくりプロジェクト事業【基本事業名：52301 住民参画のまちづくり】

当初予算額： 252,000千円 324,000千円

事業概要：景観づくりや街並みづくりに寄与する社会資本整備として、住民参画により策定した計画に基づき、県道など県有施設について、自然や歴史・文化など地域の個性を生かした修景整備を実施します。